

高知県労連

〈仮称〉●名称募集

No. 1

1989.11.15

■発行者 高知県労働組合連合会

〒780 高知市本町5丁目3-8ヒカリヤビル2F

Tel.(0888)72-3406 FAX・Tel兼用(0888)22-7969



大会あいさつ

準備会委員長 山中正博

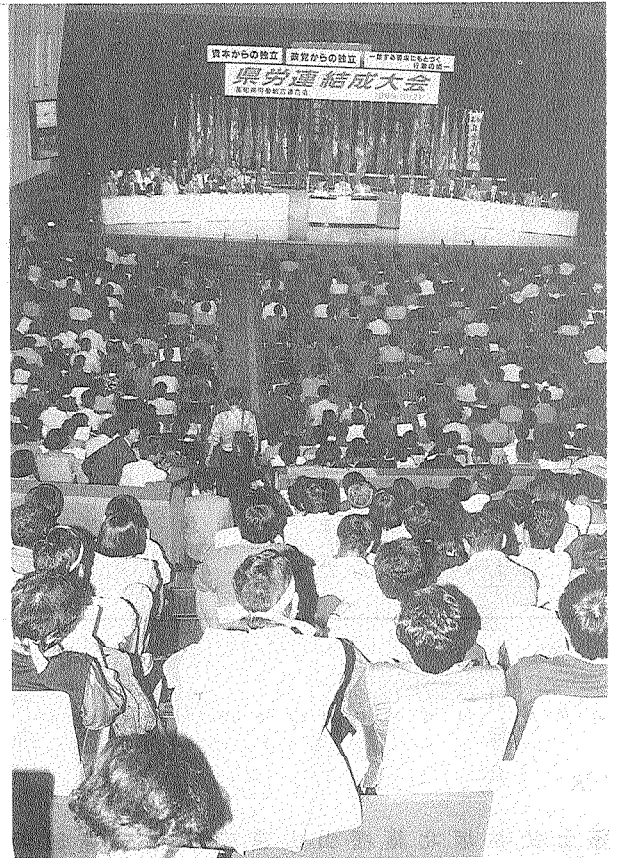


高知県の労働運動史上、新たな一ページを開く「県労連」結成大会が、県下四十八労組、二地域組織、一万五千人以上の働く仲間を

県労連全国トップでスタート

— 新たな時代へたしかな選択 —

県民、労働者の熱い期待をうけて、高知県のたかろーカルセンター県労連の結成大会が、十月二十一日、高知市のRKCホールで八百二十人が参加しておこなわれました。たかろーカルセンターの地方組織づくりでは全国初。各界からの注目をあつめました。



好評だった 三人の 演奏者



大会でたいへん好評だった演奏は、県教組の野村純一さんのトランペット、小川則明さんのトロンボーン、OBの鍋島博直さんのピアノによるものでした。開会と結成宣言のあとのファンファーレは、野村さんの自作です。閉会で歌った「インターナショナル」は、たいへん感動的でした。

トランペットによるファンファーレにつづき、「緑の山河」の演奏にあわせて組合旗が入場。山中正博準備会委員長あいさつ、片岡正剛副委員長が経過と大会運営についての報告をしました。国松勝事務局長が参加組織綱領・規約を提案、結成宣言が読みあげられ、満場の拍手で歴史的県労連の

結成が確認されました。

つづいて、来賓が紹介された。たかろーカルセンター結成準備会を代表して、吉田平自治体労組全国連絡協議長、高知県農民組合の松田佳夫書記長、日本共産党の山原健二郎衆議院議員が激励と連帯のあいさつ、各界からのメッセージが紹介されました。

運動方針と九〇春闘方針が提案され、県教組、日高地区労連、ミロク製作所労組、年金者組合の代表が決意を込めた討論にたち、予算案も含め満場の拍手で採択されました。

そして、県労連新役員が壇上で紹介され、ひととき大きな拍手につつまれました。門脇重勝委員長が役員を代表して決意表明、「アピール」を採択後、高橋豊房書記長が閉会あいさつをのべ、最後に全員で「インター



ナショナル」を大合唱しました。参加者は、「身がひきしまるような感動をした」「会場全体が熱気にあふれていた」と感想をのべています。香川でもがんばります。」と語りつづきました。

政府・財界の反動政策をことごとく支持・推進する「連合」は、労働者・国民の期待と利益を裏切り、右翼再編をすすめてきた。日本総評も高知県評もそれぞれ解散し、「連合」に吸収合併される。

県労連は、県内労働組合運動の不屈の戦闘的伝統をひきつぎ発展させ、多くの「連合」不参加労組と共に、要求実現闘争をすすめていく。

